

京の五節句と年中行事

ち
よ
う
よ
う

重陽の節句展



この節句は、中国の陰陽道の中で最も大きな陽数(奇数)「9」が重なる日を、「陽が重なる」と書いて「重陽の節句」と定め、不老長寿を願ったことから始まったといわれています。平安時代から伝わる「着せ綿」という行事では、前夜に菊の花に真綿をかぶせて香りと朝露を移し、翌朝その真綿で体や顔を拭うことで、無病息災や健康長寿を願いました。貴族の間では、健康と長生きを祈って、この着せ綿を親しい人と贈り合う習慣もありました。

このような暮らしの文化を継承し、皆様の無病息災や健康長寿をお祈りすることを目的とした「重陽の節句展」を開催します。

日時 令和8年10月6日(火)から9日(金)まで
9:00~17:00

場所 上京区総合庁舎1階 区民交流ロビー

協力 いけばな嵯峨御流 教授 石川利佳甫氏、京人形司 大橋弼峰、
國定織物株式会社、有限会社テラフ貨物店
主催 京の暮らしの文化普及啓発実行委員会、上京ふれあいネット運営協議会
問合せ先 上京区役所 地域力推進室(企画連携担当)
電話 075-441-5029 FAX 075-432-0566

重陽の節句体験

無料

事前申込制

日時 10月9日(金) 14:00~15:00
場所 上京区総合庁舎4階 大会議室1
内容 重陽の節句にちなんだ菊に着せ綿をかぶせる体験と花つつみの制作
対象 小学生以上で区内在住の方
※小学生は保護者同伴、保護者も体験に参加の場合は別途申込みが必要
講師 いけばな嵯峨御流 教授 石川利佳甫氏
定員 20名(先着順)
申込み 9月24日(木)9:00から
10月1日(木)までに、
二次元コード又は電話にて



花つつみ
(制作イメージ)



▲申込みはこちら